

## より親しみやすい広報紙を目指して

今回の表紙は、足利高校美術部に所属する中村八起さんと藺部暖人さんの作品を採用いたしました。足利市議会では、市民の皆さまにとって身近に感じることができる親しみやすい広報紙を目指しており、その一環として協力いただいたものです。

この作品は、若者目線で選んだ足利市の名所を黒板にチョークを使って描いた黒板アートです。世界中の観光客を魅了する藤の花をはじめ、森高千里さんの名曲で知られる渡良瀬橋、50万人を超える観覧者が集まる花火大会、恋人の聖地である足利織姫神社、足利氏の歴史を現代に伝える饒阿寺などが描かれています。

読者の皆さまにとっての「僕たちの足利」はどのような風景でしょうか？



## 新型コロナウイルス感染症の拡大に係る要望書の提出

同感染症の感染拡大は、経済的・社会的に甚大な影響を及ぼしており、本県においても令和3年8月20日には緊急事態宣言が発令されました。

これらの状況に鑑み、本市議会は引き続き感染症対策を推進していくため、ワクチン接種の円滑な実施に向けた対応、同感染症に対する新たな医療提供体制に伴う対応、地域経済対策、学校や保育所などの教育・子育て施設等での予防対策に係る財政支援の4つの事項について対策を講じるよう、県内14市の議会で構成する栃木県市議会議長会として県知事に要望するよう要請したほか、市長に対しても要望書を提出しました。



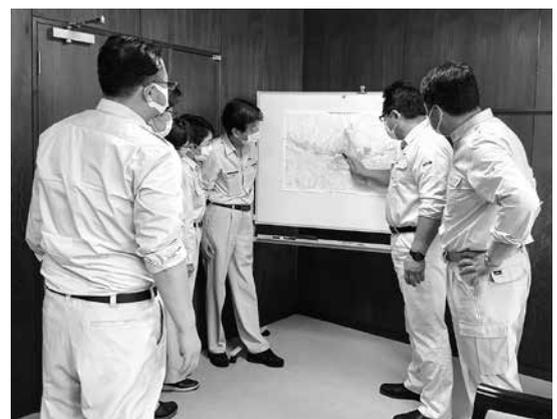
▲要望書を市長に提出（8月20日）

## 足利市議会災害時対策訓練を実施しました

近年は全国各地で自然災害が頻発化し、甚大な被害が発生しています。本市においても令和元年東日本台風では、観測史上最大となる雨量を記録するなど油断できない状況にあります。

市民の生命と財産を守り、災害復旧や生活の安定に向けた対応を迅速に行うためには、平時からの準備と事前の対策が重要となってきます。

そこで本市議会では、毎年実施している災害時対策訓練を8月7日に実施し、足利市議会災害対策支援本部の立ち上げや議員の安否確認、当面の議会運営訓練などを行い、災害初動期の対応を再確認しました。



▲災害時対策訓練の様子（8月7日）